



モバイルとクラウドを結び付け、 アナリティクスによる 新しい価値を創出

IBM Research
Senior Manager
Mobile Technologies and Analytics

David Lubensky

各産業分野の深い知識に根ざした ソリューションを提供

IBMには、さまざまな産業・業種のお客様がいらっしゃいますが、今お客様が求めているのは垂直型のソリューションです。IBMが選ばれる理由は、私たちが持つ各業界における深い専門知識であり、これがIBMの成長の源になっています。

IBM Researchにおいてもこれを軸とした計画を立てています。IBM Researchの戦略は、私たちが持つ各産業分野での知識や分析能力を生かした、価値の高いソリューションを提供することにあります。

もう一つフォーカスしているのは、IBMとAppleのパートナーシップです。IBM Researchでは、研究によるイノベーションをAppleとの提携にも活用しようとしています。IBMとAppleとの提携により、業界は大きく変わるでしょう。IBMの持つクラウド、アナリティクス、ソーシャル、セキュリティーなどの専門知識と、Appleのすばらしいデ

ザインと製品が統合されるのです。これには市場を変革させ、企業で働く人たちの役割や働き方を変える力があると考えています。

もちろん、IBMの戦略はプラットフォームに依存しないことが前提であり、AndroidやWindowsもサポートします。しかし、Appleとの提携は戦略的かつ独特で、エンタープライズ分野に限っては独占的な契約です。Appleとの提携による新しいソリューションを生み出すことが、IBM Researchの大きな役割でもあります。

CAMSSの中の「モバイル」

現在IBMでは、CAMSS(クラウド、アナリティクス、モバイル、ソーシャル、セキュリティー)の各分野に注力しています。IBM Researchにおいても、これらを軸とした研究を進めていますが、中でも「クラウド」は、産業別ソリューションを提供するにあたって非常に重要な役目を果たします。そして、それらのソリューションは「モバイル」で

利用されることを想定しています。

IBM Researchでは、モバイル分野において差別化が図れるようさまざまな研究を進めています。私たちのモバイル戦略は、企業のモバイル活用に向けてIBMが提唱する「IBM MobileFirst」のためのプラットフォームをサポートしたり、産業別ソリューションを開発したりすることです。

IBM MobileFirstプラットフォームは、クラウド・サービスである「IBM Bluemix」を介することで、ソリューションの構築や既存アプリケーションとのインテグレーションを迅速に実現できるという価値を提供します。クラウドを活用するために、インフラの構築に多大な労力をかける必要がなくなるのです。

一方産業別ソリューションにおいては、IBMのグローバル・ビジネス・サービス (GBS) 部門と共同で、Appleとの提携におけるアプリケーションの開発に取り組んでいます。IBMでは今後、エンタープライズ関連のアプリケーションを約100程度開発する予定です。

さらに、モバイルの活用と「アナリティクス」とは、大きな関わりをもちます。モバイル・ソリューションで収集したデータを分析することで、より高い価値を導き出すことができるからです。IBMはエンタープライズ・ソリューションに向けたデータ収集に関してTwitterとパートナーシップを締結しており、Twitterのデータと企業が持つデータを組み合わせることで、ユーザーがどのようなサービスや製品に関心を持つか把握できるようになります。このTwitterとのパートナーシップは、「ソーシャル」という側面からもより深いサービスの提供につながります。企業がユーザーのつぶやきを分析することで、よりパーソナライズされたサービスが提供できるからです。そして、こうしたソリューションは、すべて安全な環境で提供されなくてはなりません。「セキュリティ」が重要なのです。

このようにCAMSSはすべて関連しており、IBM Researchでは、CAMSSのすべての分野に注力する必要があるのです。

モバイルの活用により、新しい価値を創出する

今、企業におけるビジネスの手法は変わりつつあります。従業員には生産性の向上と価値を生み出すことが求められモバイル・プラットフォームの活用を促進する必要があります。

モバイル・プラットフォームを活用することにより、企業は各従業員の役割を明確にすることができ、アナリティクス機能や現在位置を特定するロケーション・サービスなどと連携することで、置かれている状況を見極めたうえで業務を遂行できるようになります。これは企業のあり方を変えていくものだと考えています。

例えば航空業界では、天候によって左右される燃料の量を手動で計算していましたが、今ではモバイル・アプリで燃料を計算し、最適なルートを表示できるようになっています。この航空業界向けアプリは、IBMがすでに数社のエアラインに対して提供しており、IBM Researchでは燃料最適化に向けたアナリティクス機能を担当しました。

また、近い将来には、過酷な場所で働く現場担当者が身に付けるウェアラブル・デバイス・ソリューションも実現するでしょう。例えば、鉱山で働く現場担当者がウェアラブル・デバイスを身に付けることで、現場の温度や湿度をモニターして体調に影響がないかを検知したり、定められた時間にきちんと休憩を取っているかを監視できるようになります。

ヘルスケア業界でも新たなソリューションが登場するでしょう。例えば、在宅の患者にモニターを装着することで、遠隔地から体温や心拍数、睡眠状態を検査して分析することが可能になります。これは医師や看護師の仕事に変革をもたらすものとなるでしょう。

このように、さまざまな業界においてモバイルを活用した新たなソリューションが生まれつつあります。この動きを促進するのが、IBM Researchの役目なのです。